令和４年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 幹事会（第２回）

会議の概要

○ **会 議 名**　令和４年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 幹事会（第２回）
○ **開 催 日**　令和４年 12 月 16 日（金曜日）
○ **出席状況**　東京都、22 区市、国土交通省
○ **議事の要旨**

＊ 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明

【主な意見及び国の回答等】

・ 羽田小学校の騒音値について、80 dBを超える騒音値が測定されることが増えてきている。大型機の実測値の平均も９月、10 月で上がっており、推計平均値に近づきつつある。大型機、中型機、小型機を総括した平均値についても昨年度より数値が上がっている。大型機の復便の関係もあるかとは思うが、騒音増大の要因などがあれば教えていただきたい。

⇒80 dBを超えた騒音については、いずれもボーイング 777 によるものである。大型機については、今後、低騒音機への更新が進んでいく見込みであるが、引き続き分類、集計を行い、皆様に情報提供していく。

⇒11 月より、特定の大型機におけるＢ滑走路末端離陸による騒音軽減策を開始いただいたところであるが、今後も更なる対策をお願いしたい。

・ 荒川ルートの９月の航跡について、江戸川区の上空をまんべんなく飛行機が通過しているが、全て９月 24 日に発生したものか。

⇒ほとんどが９月 24 日に発生したものである。９月 24 日は、台風の影響で出発経路に悪天域が流入しており、安全運航のため、江戸川区上空を通過することで、悪天回避を行った。

⇒住民の方々からお問合せいただくこともあるため、今後このようなことがあれば、早めの情報共有をお願いしたい。

・ 毎年、落下物防止対策を強化いただいているが、過去４年間の部品欠落件数はどのように推移しているか。

⇒就航便数は昨年度に比べて増えているが、今年度の部品欠落件数は昨年度に比べると減っている。今後の復便も見据えつつ、引き続き落下物防止対策に取り組んでまいりたい。

・ 部品欠落については実績をお示しいただいているが、落下物については実際に確認された事案はあるのか。

⇒新飛行経路の運用開始後、今日に至るまで、新飛行経路下において落下物は確認されていない。

・ 区としては、固定化回避の取組は重要であると考えている。固定化回避検討会では、今後も検討すべき様々な課題があると思われるが、早急な結論に向けた取組を引き続きお願いしたい。

⇒固定化回避検討会については、来年の夏から秋に予定する次回の会合の開催に向けて、鋭意、関係部署が作業を加速させながら、全力で取り組んでいる。引き続き、スピード感をもって検討を進めて参りたい。